



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会
 発行責任者 今井 秀一
 編集者 白波瀬 浩幸
 〒606-8395 京都市左京区
 東丸太町 9-1 マンパワービル 3F
 TEL・FAX 075-752-5090
 E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net



■□■ CONTENTS ■□■

TOP	◆ スキーツアー2009
CONTRIBUTION	◆ OBの検査室訪問 第2回 ～日本バプテスト病院～
REPORT	◆ 第10回新入・転入会員研修会
REPORT	◆ 第7回尿細胞診別府カンファレンス ―泌尿器領域の細胞診―
PROCEEDINGS	◆ 理事会議事録(第3回、第4回)
INFORMATION	◆ 奈良・京都 臨床検査技師会合同スキーツアー



スキーツアー2009

奈良・京都 臨床検査技師会合同スキーツアー

平成21年1月23日(金)～25日(日)

戸隠スキー場(長野県長野市戸隠)

奈良県臨床検査技師会と合同で、下記要綱のスキーツアーを企画いたしました。楽しいスキーツアーにしたい
 と思います。多数のご参加をお待ちしています。

記

期間：平成21年1月23日(金)～25日(日)

場所：戸隠スキー場(長野県長野市戸隠) 宿泊：ロッジぴこ

参加資格：原則として技師会会員、賛助会員および家族

参加費：大人20,000円、小学生10,000円、乳幼児5,000円

申込み期間：平成20年11月1日～平成20年12月27日

定員：40名

申込み先：奈良臨技アウトドア同好会

スキー担当：藤本一満 <k-fujimoto@mail.falco.co.jp>

お問合せ：公立山城病院 高島 徹 <takashima_ru@yahoo.co.jp>

※ ツアーバスは奈良を出発して京都駅経由となります。その間であれば、途中ピックアップも応談。



詳細は最終ページをご覧ください

CONTRIBUTION

投稿

OBの検査室訪問

京都府臨床検査技師会 顧問 清井 健司

第2回目の訪問は

日本バプテスト病院

です

6月26日午後4時、今回も中村理事と訪問しました。日本バプテスト病院は東山連峰の北に位置し滋賀県に通ずる通称「山中越え」の入り口手前を北に入った丘の上にある、閑静でまさに療養にふさわしい施設であります。



す。小児科・産婦人科は以前から患者・地域住民に信頼されておりしております。

病院機能評価も2回目の受審をされ機能評価の継続認定をなされています。

さて検査室は写真に見るように、検体検査室・生理検査室は横並びに配置されており、その間に採血室があります。患者・職員の動線が配慮されています。

採血室がエコー室のとなりで、ここで臨床検査技師が外来患者の採血を実施しています。採血台は2台設けられており、採血者が多くなると看護師の応援を得て日々の採血業務を行っています。検査室は外来・入院の至急・緊急検査を実施して検査結果はFAXで各診療科に送り、その後でコンピュータ端末から手入力しています。至急検査以外は外注にしておりそのデータは依託先の外注センターから検査室にオンラインで取り込まれ、診療科の医師がそれぞれの診療科で見ようになっています。ほぼ1時間半以内に検査結果が送られてきます。

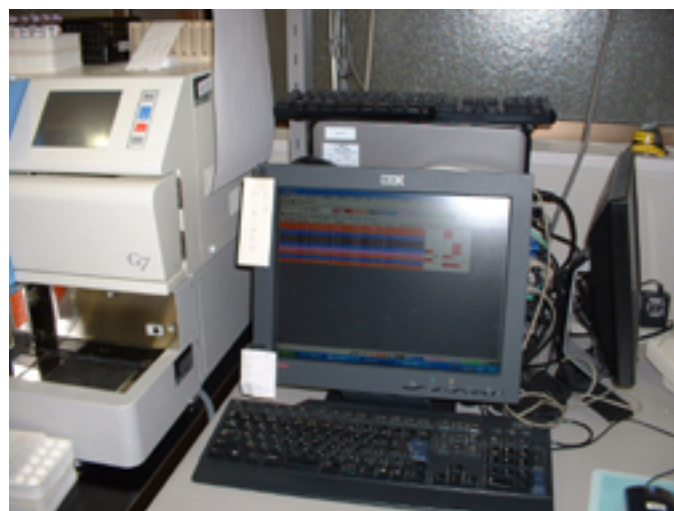
院内検体検査体制の維持は、技師の誇り！

検査室は常勤技師5と嘱託技師1名で構成されております。生理検査には2～3名が係わり他の技師は検体検査を担当しています。臨床検査室の勤務は、午前8時半から午後5時10分までですが、毎日1名が朝7時出勤で病棟の検体を回収して外注への準備をします。院内検査は、CBC、生化学16項目、尿検査、輸血、生理検査などであり他の病院とそんなに変わりはありません。ただ診療科との関係で、簡易緊急検査が多くなかなか多忙となっています。インフルエンザ・ロタウイルス・アデノウイルス・マイコプラズマ抗体価・溶連菌など多彩で、



検査室担当の部長は内科医師が兼任しております。検査機器の更新や購入の検討委員会もあり、検査室からの要求も出して、昨年度末は認められ心エコー専用の超音波診断装置1台が更新されたとのことでした。

現在検査室として、時間外はオンコールで対応しています。もっとも医師の要望には応えたいが、週休などでスタッフの休みがあると仕事が回らなくなるので、新規に導入する検査については判断が難しいのが悩みだそうです。また学会や勉強会も近場しか行けないというのも悩みとのことでした。



技師が必ずいなければいけないという風になっていないのか常々疑問に思う」との疑問を我々にぶつけてきました。私は、それは我々も全く同感です。しかし、現在の医療法では「病院に検査室を置かなければならない」が技師を配置しなければならないとはなっていないことに主因があります。さらに私は「技師会は、検体検査への業務制限を長年求めています、規制緩和の流れのなかで一層技師会の要求実現が遠のいているのが現状です」と答えました。

技師会への要望は？

技師会には、「検査室の管理運営の方法、費用分析・費用対効果について」や「基礎的な勉強会」をもっと実施してほしいと言う声が聞かれました。また、技師確保の情報がほしいとの要望も出されました。これらの要望は、理事会に反映しますということで病院を後にしました。最後に中小病院の検査室の悩みは共通しているように思います。もっと良い仕事がしたいの思いをこれからも届けます。

これ以外にも尿中肺炎球菌夾膜抗原検査というものもあります。生理検査のエコー検査では、心臓・腹部以外に甲状腺、乳腺、頸動脈、下肢と多岐にわたり、更に心電図、ABI/baPWV、トレッドミル、脳波検査、聴性感覚脳波（ABR）や神経伝導速度測定も実施しています。

このため誰かが休んだ上に、輸血検査があつたりするとパニック状態の時もあるとのことでした。もうすこし余裕があれば、作業量や検査室の収支などしっかりと把握できるようにしたいと語る主任さんの声でした。



院内システムのネットワーク化が早く実現すれば・・・

現在は、検査後「手入力」しているデータの取り込みや生理検査の画像も電子化すれば、もっとも臨床検査データが活用され、諸統計も把握がしやすくなる。仕事にも余裕が生まれると考えられるので、その点をぜひ病院として考えてもらうように要望しました。

病院に検査技師は必要！全ての病院に検査技師を！

最後に、瀬川主任（技師長代行）は「なぜ病院に検査

REPORT

研修会報告

第10回 新入・転入会員研修会

中村 和彦（京都和光純薬株式会社）

京臨技行事で毎年恒例となりました、「新入・転入会員研修会」も今年度で10回目となり、今年度は、9月5日（金）午後6時から京都教育文化センターにて開催されました。

新入会員20名・仮会員1名・会員3名・研究班10名・理事&事務14名で、総人数48名の会員が集まりました。

開会は、司会の林事業部長から行われ、先ず今井会長の新入会員に向けた挨拶から始まり、小澤総務部長からは京臨技に関する説明、主にホームページ紹介と事務手続きの説明の後、荻野学術部長からは学術部活動の説明があり、積極的な技師会活動の参加を呼びかけました。

講演は、副会長である京都第二赤十字病院検査部の芦田英之氏から「チーム医療・感染症対策支援」という演目にて講演され、様々な京臨技の取組を発表されました。

研修会後半の懇親会は、白波瀬副会長の乾杯で始まり、会員相互の歓談も落ち着いた頃、恒例の4チーム対抗クイズグランプリを林事業部長の進行で行いました。

新入会員とベテランがクイズ回答に真剣に取り組むなか、随所に研究班のPRタイムを設け各々の積極的な活動と呼びかけ、クイズも終盤となり大逆転で優勝したチームは大いに盛り上がっていました。

終了時刻の9時を向かえ石澤副会長の閉会挨拶にて盛会裏に研修会を終えました。会員施設間の壁の無い技師会活動を垣間見るひと時でした。

優勝チーム



準優勝チーム



3位チーム



4位チーム



REPORT

研修会報告

第7回尿細胞診別府カンファレンス

名嘉 正勝 (N.H.O 南京都病院)

— 第7回尿細胞診別府カンファレンス — 泌尿器領域の細胞診

※ この勉強会は7年前に尿細胞診のルーチン検査で日頃悩んでいる方々が福岡県の新日鐵八幡記念病院病理部の金城 満先生のもとで少人数で症例検討会として始められました。ざっくばらんで気兼ね無く意見交換が出来、とても有意義な勉強会で、年々参加者が増え、今年は100名近くの方が参加され、土曜日の昼から夜12時頃までと、翌日は朝8時15分から12時30分まで講義、シンポジウム、症例検討と活発な討論会が行われました。

日時 : 平成20年2月9日(土)、10日(日)

場所 : 別府湾ロイヤルホテル

目的 : 尿路上皮腫瘍についての病理学的理解と尿中細胞の診断の基礎知識を深め、尿細胞診の精度向上に努める。

講義1 : 尿路上皮腫瘍のNew WHO / ISUP 分類とその問題点

演者 : 森内 昭 (大分医療センター病理)

内容 : New WHO 分類で改訂された特記事項として、用語において、移行上皮(transitional cells)は尿路上皮(urothelium)に変更になり、異型性を表す表現として、*atypia*をやめ*anaplasia*を採用した。また、新しい概念として低悪性度乳頭状尿路上皮腫瘍(papillary Neoplasm of low malignant potential)が設けられた。これは以前TCC grade 1 (G1)となっていたものの大半をこの診断名に変更した。さらに、G1を中心にして異型度をより詳しく定義し、尿路上皮癌の変型(皿型)をより明らかに扱うようになった。また、診断に当り細胞異型、局所の広がり、脈管内浸潤および転移の有無を考慮すると記載されている。

問題点としては、New WHO 分類で新しい概念として低悪性度乳頭状尿路上皮腫瘍(papillary Neoplasm of low malignant potential)が導入され、良性悪性境界病変と位置づけされた点である。従来の移行上皮癌(尿路上皮癌)の異型度1をこの病変とurothelial carcinoma, low gradeに分ける必要があるのか、また病理医がどこまで確実に診断しえるか、そして、泌尿器科医(臨床)を混乱させる可能性があり、今後泌尿器科医と論議を重ね、さらに検討する必要があると思われる。

講義2 : 尿路上皮癌病理診断における診断者間のバリエーション

演者 : 村田 晋一 (埼玉医科大学国際医療センター)

内容 : 従来、尿路上皮異形成は反応性異型から上皮内癌に近い細胞異型まで幅広く細胞異型を示す尿路上皮平坦病変と考えられてきたが、近年異形成は低悪性度の尿路上皮内腫瘍 low-grade intraurothelial neoplasia として捕らえられている。しかし、実際の病理診断においては、異形成は反応性異型や上皮内癌との鑑別に苦慮しているのが現状である。反応性異型と異形成、異形成と上皮内癌の間に明瞭な境界を設けることは困難であり、診断基準も無く、病理医間でも診断にばらつきがある。

New WHO 分類では、尿路上皮平坦病変では、異型を伴う反応性異型、意義不明の異型、異形成、上皮内癌、および異型を伴わない過形成に分類されている。今回、診断者間のばらつきを見るために、9名の病理専門医の先生に、異なった異型を示す尿路上皮平坦病変を、異型の弱い順にa~dとした4症例を診断して頂いた結果、異型の弱い症例aでは、異型の有無(正常か否か)について意見が分かれ、bでは、異型の存在を認める病理医が多いが、極性がほぼ保たれており、細胞異型も軽度で有る事から、反応性か腫瘍性かで意見が分かれている。cでは、極性の乱れ、細胞の乱れが見られることから、腫瘍性異型であることには意見の一致を見たものの、異形成か上

皮内癌かで意見が2分している。dでは、構造異型と細胞異型が共に強く、上皮内癌とする病理医が多かったが、1/3の病理医が異形成や意義不明の異型と捕らえていた。

上記の様に、尿路上皮平坦病変の異形成は、子宮頸部の異形成の様な組織診および細胞診における明確な診断基準が存在しない為、病理医間で、診断にかなりのばらつきが認められる。尿路上皮異形成は、高悪性度の尿路上皮癌に進展する危険性の高い病変であり、早期の的確な診断や診断後の厳重な追跡が必要である。診断のばらつきを無くする為にも、診断基準の確立や早期発見方法などの確立が急務と思われる。

シンポジウム

主題：「尿路上皮癌の治療に伴う細胞変化：治療前・中・後の変化を中心に」

講演－1. 治療法と膀胱鏡による診断を中心に

奥村幸司（新日鐵八幡記念病院泌尿器科）

講演－2. 膀胱上皮癌におけるBCG膀胱内注入療法の治療成績と細胞像の検討

三村明弘（大阪労災病院臨床病理科）

講演－3. 治療に伴う細胞変化Ⅱ：乳頭状病変（TUR療法を中心に）

川口洋子（東京厚生年金病院病理科）

講演－4. BCG膀胱内注入治療に伴う膀胱尿路上皮癌のケラチン及び癌抑制遺伝子発現の変化

中澤久美子（山梨大学医学部附属病院病理部）

講演－5. 尿路上皮癌におけるChromosome in situ hybridization (CISH)法の試み

山崎泰樹（獨協医科大学越谷病院病理部）

追加発言－金城満（新日鐵八幡記念病院病理部）

※ このシンポジウムは2007年日本臨床細胞学会秋期大会ワークショップで行われた演題を演者の方々に、更なる検討を加え再現して講演して頂きました。

尿路上皮腫瘍は、近年、異形成や上皮内癌、非乳頭状浸潤癌が注目され、これらの病変が生命予後を判断する上では非常に重要になってきました。尿路上皮癌の治療に伴う細胞変化は再発の有無や治療効果を判定する上では非常に重要であり、その鑑別点を極める目的で、各テーマについての検討結果を5名の方に講演して頂き、後にフロアーを交えて討論会を行いました。

講義3：尿路上皮腫瘍の亜型について

演者：井関充及（佐世保共済病院病理）

内容：WHO分類における尿路上皮癌の亜型について、各亜型の組織像を提示し、形態学的な特徴と鑑別点について説明して頂きました。



講義4：アポトーシスとその細胞診における意義

演者：下釜達朗（新日鐵八幡記念病院病理）

内容：アポトーシスの分子機構や形態変化(アポトーシスとネクローシスの違い)、アポトーシスシグナル伝達系とその免疫系への関与について、アポトーシスを抑制する分子などについて講義して頂きました。具体的な内容は、形態変化について、細胞の死の方にはアポトーシスとネクローシスの二通りのパターンがあり、ネクローシスは加熱や虚血などの物理的、化学的傷害により細胞が膨化し核のKaryolysisを伴って崩壊する。また、細胞膜は破綻し細胞内容が外に出て、周囲に炎症反応を引き起こす。それに対し、アポトーシスは細胞の核が凝縮、断片化し、特徴的な形態(apoptotic bodies)を示し、細胞内小器官は膨化せず、細胞膜も保持され、周囲に炎症反応を起こすことなくマクロファージに貪食処理される。大きな違いは、ネクローシスは偶発的に起こる細胞死で、

アポトーシスはプログラム制御された細胞死である。細胞診や組織診断への応用と意義については、腫瘍細胞の増殖活性を判定する際、核分裂が重要視されるが、腫瘍細胞数の増大は、核分裂とアポトーシスのバランスにより決定されており、アポトーシスは核分裂と同様の意義を有する。また、腫瘍の異型度や予後とも相関性があることが解明されて来た。断定的ではないが、標本上でアポトーシスに陥った細胞を数値的に把握することにより、腫瘍の増殖、進展過程や異型度、予後判定の予測にも応用することが出来ると思われる。

講義 5：尿細胞診の精度管理

演者：森健一、大谷博（白十字病院病理）

内容：尿細胞診の精度を向上させるには、標本作製が最も大切で、固定条件や染色性はもとより、標本上に如何に多くの細胞を集められるかがポイントである。液状検体は染色中に細胞が剥れ易いため情報量が少なく成り細胞判定が困難になる場合がある。それを克服するために種々の検体処理法が考案されている。細胞検査士会では、初心者でも良好な標本作製が可能な指標として泌尿器細胞診標本作製マニュアルが考案されている。また、細胞診断を行う上で、判定基準がまだ確立しておらず、検体数や経験年数により判定にばらつきがあるのが現状である。精度向上のためには、客観的な判定基準を確立し、だれでも一定の判定が出来る様な、指標となる判定基準マニュアルの作製が急務であると思われる。今後、細胞学会や泌尿器学会、各種研究会、研修会等で議論され判定基準が確立されることが期待される。本カンファレンスもその一貫を担うため、尿細胞診の一選で活躍されている方々が集い、ディスカッションし、尿細胞診の精度向上に努めています。

Midnight discussion

演題：一般検査からみた尿中異型細胞の評価

演者：藤 利夫（九州がんセンター研究検査科）

内容：尿沈渣のSM染色標本と細胞診のパパニコロ染色標本での異型細胞の見え方や良悪性の鑑別点などについてカラフルでマニアックな画像とコミカルなお話で、とても有意義な講演でした。

症例検討会

主題：診断困難な尿路上皮病変の細胞診断

内容：尿路上皮病変 12 症例について事前に標本を回して各自に検鏡して頂き当日活発なディスカッションが行われました。

総合討論

主題を決めず、日頃の細胞診に関する悩みや疑問点、最近の話題や新しい試み、今後の展望、本カンファレンス中の疑問点などについてディスカッション致しました。

※ 最後に、尿細胞診別府カンファレンスは2日間に渡り、とてもハードな研修会でしたが、とても有意義で得る物も大きく、日頃尿細胞診に携わってなく、苦手意識がありましたが、本カンファレンスを受講し、尿細胞診がとても身近に感じられる様になりました。また、沢山の仲間と交流が持て仕事の視野も広がりました。それから3連休でしたので最後の日は別府の地獄温泉めぐりや湯布院散策などの観光に出掛け、心身ともにリフレッシュ致しました。今回は京都から3人の方が参加致しました。来年は愛知県(犬山市?)で2月7, 8日開催される予定です。とても楽しく、有意義な研修会ですので、京都から多くの方の参加を希望致します。ご希望の方はご一報下さい。



平成20年度第3回定例理事会議事録

日時：平成20年8月7日(木)18:30～20:30

場所：京都府臨床検査技師会 川端丸太町事務所

議長：今井

書記：中村 議事録署名人：今井、白波瀬

出席顧問：なし 出席監事：なし

日臨技理事：湯浅

出席理事：今井、芦田、石澤、白波瀬、青山、荻野、小澤、佐々木、高嶋、中村、西川、林孝俊、林雅弘、早瀬、廣瀬、藤崎、山田

委任状出席：丹羽 欠席理事：なし

事務局出席：山方

1. 【報告事項】

◎ 今井会長報告

● 日臨技関係

感染制御部門研修会 8月1・2・3日 京大医学部にて開催 受講者73名

● 近畿技関係

近畿会長会議 ラマダホテル大阪 平成20年7月29日(火) 14:00～15:00

(社)臨薬協プロモーション地区委員会 ラマダホテル大阪 平成20年7月29日(火) 15:00～17:00

近畿会長会議 国際協力機構大阪国際センター(JICA 大阪) 平成20年8月10日(日) 11:00～12:00

● 京臨技関係

新公益法人制度説明会(京都府主催)京都テルサホール 平成20年7月24日(木) 13:30～17:00

○来年度11月27日～29日「みやこめっせ」にて開催の「第49回近畿医学検査学会」を「第52回日本臨床検査医学会近畿支部総会」及び「第29回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会」と同日開催します。3団体との連絡準備協議会を平成20年8月21日(木)開催予定

◎ 湯浅日臨技理事

1. 新公益法人制度に関する説明会

日時：平成20年7月24日(木) 9:00～12:30

場所：京都テルサホール

2. (社)臨薬協プロモーション地区委員会

日時：平成20年7月29日(火) 15:00～17:00

場所：ラマダホテル大阪

◎ 芦田副会長報告 特になし

◎ 白波瀬副会長報告 特になし

◎ 小澤総務部長報告

・岩手・宮城内陸地震義援金 日臨技へ38,000円送金

・ユニセフ基金2万円送金

・当年度年会費未入金者へ催促連絡状を発送

・厚生労働大臣表彰推薦依頼

・京都保健衛生専門学校オープンスクール協力

7月29日 病院見学：京都府立医科大学附属病院 見学者：9名、講師派遣：廣瀬／8月2日 病院見学：相馬病院 見学者：6名、講師派遣：林雅弘／8月28日 病院見学：京都府立医科大学附属病院、講師派遣：白波瀬／10月4日 病院見学：京都民医連中央病院、講師派遣：芦田(予定)／11月1日 詳細未定

・9月分の配布物発送予定 8月20日(水)

◎ 荻野学術部長報告

・7月11日：近臨技 チーム医療推進委員会会議(大臨技事務所)

・7月23日：くらしと健康展第3回実行委員会(京都府医師会館) 各コーナーの催し内容と会場レイアウトの確認
血糖検査の微量採血穿刺器具の確認 (BD ジニーランセット(針一体型))

・日臨技企画の部門別研修会開催に対する調査(各研究班班長に問い合わせ)

◎ 石澤事業部長報告

・精度管理の日程

10/28 サンプル調整準備 於：京都保健衛生専門学校

10/30 サンプル配付

◎ 中村理事 OB の検査室訪問で、顧問の清井先生と「日本バプテスト病院」訪問。前回訪問分と併せて報告書を提出。

2. 【委嘱・承認事項】

・会員動向(会長承認事項)・・・承認

会員総数 972名(8月4日現在) 7月度 新入会 5名、退会 0名、仮会員登録 0名

・後援依頼・・・承認

第2回医療セミナー 京都府臨床工学技士会

・後援依頼・・・承認

「地域医療崩壊阻止のための国民運動」の採択承認依頼 京都府医療推進協議会

日本医療マネジメント学会第6回京滋地方会後援 日本医療マネジメント学会

市民公開シンポジウム「大腸がんの早期診断と治療」 日本放射線技術学会

3. 【検討議案】

1. 第10回新入転入会員研修会について・・・承認

日時：平成20年9月5日(金) 18:00～21:00

場所：京都教育文化センター 302号室

当日役割分担・準備物品確認・参加集約方法・時期の確認(別紙)。例年通り理事・班長は全員出席をお願いします。

2. 第35回くらしと健康展について・・・承認

日時：9月13日(土)～14日(日)

場所：パルスプラザ

出務理事 13日：今井・芦田・白波瀬・佐々木・山田・藤崎(生理研究班講習会と同日)

14日：芦田・石澤・小澤・早瀬・西川・中村

各施設の多くの技師に参加要請する。

3. 京都医療推進協議会について・・・継続審議

日時：平成20年10月19日(日)(第48回近畿医学検査学会と同日)

場所：みやこめっせ

イベント内容：

1. 兵庫県技師会の紹介 DVD 放映ブース：2台のDVDで実施する。

2. 子宮ガン検診啓発ポスター展示と説明：既存の広告を拡大コピー貼り付けする。

当日出務理事：4名 廣瀬・高嶋・豊山・

3. 技師会の紹介文(芦田副会長案)の確認・添削を白波瀬副会長が実施。(300字以内)

4. 精度管理事業報告会について・・・継続審議

開催日として、今年度2月末日 or 3月初旬に予定(各研究班長には連絡済)。各研究班とのスケジュール調整のため早期にkamtr-riji にアップする。

5. 京都府医師会・京都府臨床検査技師会 合同学術講演会について・・・継続審議

日時：平成20年11月22日(土)

場所：未定(京都駅周辺)

テーマ：(仮)甲状腺検査・治療について、講師：未定(大阪医大に依頼予定)

後援：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

6. データ標準化事業について・・・承認

「データ共有化事業推進委員会」臨床化学研究班の藤本一満委員(ファルコ)からの協力要請に

基づき、南部氏(府立医大)がデータ標準化事業を前向きに捕らえ、共に京都の病院と検査セン

ターが協力して進める。(藤本委員所属の奈良県会長承諾済)

7. 第6回理事会開催日程変更の件について・・・承認

私立病院協会主催のパソコン講習会開催日と同日のため 11月6日(木)に変更

第4回理事会開催予定 9月11日(木)

会場：京都保健衛生専門学校 大会議室

時間：18:30～20:30

平成20年度第4回定例理事会議事録

日時：平成20年9月11日（木）18:30～20:30
場所：京都保健衛生専門学校 大会議室
議長：今井
書記：早瀬 議事録署名人：今井、石澤
出席顧問：田畑 出席日臨技理事：湯浅
出席理事：今井、芦田、石澤、荻野、小澤、佐々木、高嶋、豊山、中村、西川、林孝俊、林雅弘、早瀬、廣瀬、藤崎
出席事務局：山方 欠席理事：白波瀬、丹羽、山田、青山

1.【報告事項】

◎ 今井会長報告

● 近臨技関係

8/10 近畿会長会議 11:00～12:00

J A I C大阪 アフリカ臨床検査技術研修 ガイダンス 1:00～16:00 J A I C大阪

9/10 近畿会長会議 12:00～13:00 大臨技事務所
公益法人改革意見交換会 13:30～14:30 大臨技事務所
第2回近畿理事会 15:00～17:00 大臨技事務所

● 京臨技関係

8/21 49回近畿学会3団体打ち合わせ会 18:00～20:30 丸太町事務所

8/26 学部部講演会（日本におけるPOCTの現状） 18:30～20:30 京都保健衛生学校

松尾収二先生（天理よろず）懇談会 20:30～9:15 京都保健衛生学校

9/2 49回近畿学会運営委員会（第1回） 18:30～20:30 京都保健衛生学校

◎ 湯浅日臨技理事 日臨技報告

<事務局>

*問い合わせ：覚せい剤、麻薬などの薬物検査についての問い合わせ。特にスクリーニング検査における精度、要望のあった試薬製造販売に関する情報の提供

*「平成20年岩手・宮城内陸地震」全国義援金

総額 2,655,958円（41都道府県＋1施設）
会員の勤務する施設に被害なし。会員の住居にも問題なし

*平成20年度特別事業

① 研修会開催

日時：平成20年11月9日(日)

場所：パシフィコ横浜

テーマ：臨床検査を取り巻く環境問題

地球温暖化が引き起こす感染症

②「マタニティ&ベビーフェスタ2009」への参画

日本マタニティビクス協会よりの協力依頼

超音波検査の実施 全国3箇所 仙台、東京、福岡で開催を予定。

開催日 仙台 2009年3月7日～8日

東京 2009年5月9日～10日

福岡 2009年4月25日～26日

次年度以降も開催地を変更して開催予定

日臨技より該当検査技師会に超音波担当検査技師の依頼要請あり

*中日新聞、東京新聞より「臨床検査コラムの掲載」

毎週金曜日 1年間(55回)予定

学術事業部

*認定一般検査技師制度認定試験の実施

平成20年12月21日(日)

日本臨床検査技師会館

<組織調査部>

日臨技共催公益目的事業企画申請と事業報告審査結果を承認

<精度保障事業部>

「平成20年度日臨技臨床検査精度管理調査」報告会

開催日：平成21年3月7日(土)

開催会場：科学技術館サイエンスホール

<出版事業部>

「新輸血検査の実際」正誤表、おわびをHPに掲載

<国際事業部>

第3回AAMLSイベント業者を日本旅行に決定

学会長講演 「日本における認定技師制度」 小崎繁昭会長
特別講演Ⅰ 「再生医療における現状と未来」 浅島誠（東大）
特別講演Ⅱ 「遺伝子チップの先端技術」 三代俊治（東芝病院）
IFBLS学会報告

第28回IFBLS学会インドで開催（8/24－8/28）

岩田進前会長がPast President Awardを受賞

小松京子常務理事が引続き評議員に選出される。

◎ 白波瀬副会長報告

・京臨技会報(No.27)発行

・平成8月28日（木） 京都保健衛生専門学校オープンスクール終了

◎ 小澤総務部長報告

・京臨技登記を伊吹司法書士へ依頼

・京臨技実印の会長名変更を伊吹司法書士へ依頼

・日臨技公益事業申請

くらしと健康展 不足書類であった試薬見積もりを日臨技へ提出

・京臨技総会後の処理として京都府へ19年度事業報告を行います。（今井、湯浅、小澤）

・推薦依頼

第17回集団検診研究開発助成金事業「加藤勝也賞」推薦依頼がきている。応募締切：平成20年12月5日。検診施設へ案内すると共に京臨技HP掲載し周知する。

・京都保健衛生専門学校オープンスクール協力

8月28日 見学受入施設：京都府立医科大学付属病院、講師派遣：白波瀬副会長／10月4日 見学受入施設：京都民医連中央病院、講師派遣：西川／11月1日 講師派遣：芦田

・10月行事予定発送日 9月24日（水） 希望者のみ発送

◎ 林孝俊事業部長

・新入・転入会員研修会を過去最高の48名参加し開催した。来年は京都駅近辺で行いたい。

◎ 佐々木理事

・京都府及び京都市衛生検査所精度管理専門委員会が9月30日に開催されるので出席する。

（1）平成19年度衛生検査所立入検査実施結果について

（2）平成19年度衛生検査所精度管理委託事業の実施結果について

（3）平成20年度衛生検査所立入検査の考え方について

（4）その他

2.【委嘱・承認事項】

・会員動向 会長承認

会員総数974名（9月6日現在）

8月度 新入会8名、退会1名、仮会員登録0名

・後援依頼 三役承認済

芸術と社会保障を愛する京都府民のつどい

3.【検討議案】

1. 京都医療推進協議会イベントについて（前回より継続審議）

1. 兵庫県技師会の紹介DVD放映

2. 子宮ガン検診啓発ポスター展示と説明

3. パンフレット配布

次回理事会で決定する。 継続審議

2. 精度管理事業について（前回より継続審議）

(1)今回のサーベイにおいては、日臨技データ共有化事業と兼ねて実施する。（日臨技データ共有化事業の説明文を配布する）承認

(2)現状予算オーバーのため、再度実施項目を含め検討を要する。継続審議とするにも時間がないため今回は会長判断に委ねる。次年度は有料化及び公益事業化も含め検討する。

3. 京都府医師会・京臨技 合同学術講演会

継続審議であったが承認

4. 奈良・京都検査技師会合同スキーツアーについて

共催という形にする。事業部長よりの指名で高嶋理事が担当し、奈良県技師会と調整をとる 承認

第5回京臨技定例理事会の予定

10月9日（木） 18:30～20:30

会場：京臨技川端丸太町事務所

平成20年度奈良・京都臨床検査技師会合同スキーツアー

ツアー行程

23日（金）	22：00	出発（八木駅）
24日（土）	7：00	戸隠に到着
	7：30	準備
	8：30	
		スキー&ボード
	17：00	
	18：00	夕食
	19：30	懇親会
	22：00	就寝
25日（日）	7：00	朝食
	8：30	
		スキー・ボード
	13：00	
	14：00	出発
	22：00	京都・奈良に到着



レンタル代

ウェア	1.5 日で 2,700 円
スキーセット	1.5 日で 2,700 円

リフト代

1.5 日券 7,000 円程度

主催：奈良県・京都府臨床検査技師会アウトドア同好会

名称：奈良・京都 臨床検査技師会合同スキーツアー

期間：平成 21 年 1 月 23 日（金）～25 日（日）

場所：戸隠スキー場（長野県長野市戸隠）

宿泊：ロッジぴこ

参加資格：原則として技師会会員、賛助会員および家族等とする。

保険：傷害保険に加入します。

参加費：大人 20,000 円、小学生 10,000 円、乳幼児 5,000 円（バス代および宿泊代）

バス乗降場：近鉄八木駅、近鉄天理駅、近鉄奈良駅、JR 木津駅、JR 京都駅

申込み期間：平成 20 年 12 月 27 日（土）

定員 40 名

申込み先：奈臨技アウトドア同好会 スキー担当：藤本一満

下記メール先に、所属、氏名、性別および連絡先をお知らせ下さい。

mail : k-fujimoto@mail.falco.co.jp